

第1部 まちづくりトーク

テーマ：洛西ニュータウンに「若い世代を呼び込もう！」

～子育て世代にとってニュータウンの魅力とは～

パネルディスカッション

まちなか（ニュータウンにお住まいの人たち）のお話

- ・自転車道や緑・遊歩道等の散歩道が多く子育てがしやすいまちだが、せっかくの遊歩道も凹凸があり整備されていないので、ベビーカーが扱いにくい箇所もある。
- ・公園は多いが遊べる遊具が少なく、また砂場にはペットの糞がある。ママ友ができればと思うが、公園や小畑川に来られるお母さん方が少なくて淋しい。
- ・文化的なものが少ないので、買い物以外でも外に出たいと思えるようなステキなオープンカフェや朝市、手作り市など多くのものを仕掛けてほしい。
- ・幅広い年齢の住民と交流ができる場を積極的に創れば地域がもっと盛り上がる。
- ・お年寄りなど住民の視線が温かく、声をかけてもらったりしてゆったりできる。



小林 馨氏
(福西学区)



松本 文子氏
(竹の里地域)



湯浅 瞳氏
(境谷学区)



飯田 美樹氏
(境谷学区)

まちそと（ニュータウン以外にお住まいの人たち）のお話

- ・高島屋とラクセーヌしかないと思われているほど、まちそとの人はニュータウンを知らないで、情報をぜひ発信してほしい。この自然、小畑川、多くの公園、イベント、児童館や子育てを支援する環境があることを知らない。
- ・公園に行っても人が少なく相談相手になるママ友もできないので、親子が遊べる場所ができれば嬉しい。
- ・子ども会などで親子揃って遠足に行くなど、大人が積極的に子どもに関わることが多かったため、ニュータウンの住民も子どもに少しでも触れ合うなど関わってほしい。
- ・桂坂、大原野を含めて各地域で植物を観察しているが、これほど豊富な植物があるまちは他にはなかなか見られない。
- ・子育て世代が楽しめるソフト面での環境が、もう少し整えばと思う。
- ・共働きなので午後8時近くまで開いている保育園があれば良い。



白川 綾子氏
(新林学区)



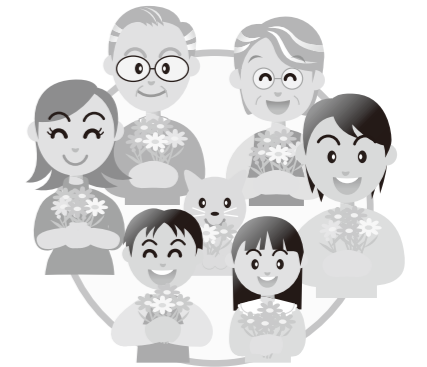
橋本 典子氏
(西京区)

意見交換でのお話

- ・役所等がタウンセンターに集まっている。買い物のついでに用事を済ませられるので嬉しい。
- ・日本のニュータウンは、小さな商店、コミュニティ機能などが入った計画都市だが、時代に合わせた再生が求められている。サブセンターに高齢者向けに野菜を取り扱うコンビニを入れることで機能が回復しているところがある。
- ・地元の会に参加して世代を超えた人のつながりができた。
- ・子育てのために自分の近隣住区を越えてでも出かけるが、情報のつかみ方や地域のネットワークが分からない、見えないので情報発信を。
- ・のんびり歩ける空間をもっと活かして外に出たくなるようなイベントの実施を。
- ・子どもの視線が隠れるほど緑が多く、親としては心配。場所に合った植栽を。
- ・親とのつながりは、児童館や広場、イベントなどで。飲食店や相互の家などでお茶をするが、子どもが走り回るので児童館など広い場所があればいい。

参加された方々の評価

- ・様々な立場、世代の方々と交流できて大変いい機会だった。
- ・ハード面からソフト面まで、大小問わず様々な課題について、それを解決する取組まで意見交換でき、有意義だった。
- ・同じ分野の活動団体の情報を得ることは、自分たちの活動の幅が広がるうえで重要なことだと感じた。
- ・洛西ニュータウンがもっと活性化する希望が生まれた。



今後の交流会への期待

- ・定期的で開催してほしい。時間ももう少し長ければなおいい。
- ・これを機に、まちづくり活動の輪がもっと広がってほしい。
- ・各分野で議論された内容を、より深める勉強会や意見交換の場を別に設置して、開催してほしい。問題提起にとどまらず、発展できる交流会を。



「らくさいさくらチャリティ」に委員会ブースを出展しました！

平成23年4月2日（土）、3日（日）、小畑川中央公園、ラクセーヌ専門店街周辺一帯で開催された「らくさいさくらチャリティ」において、委員会ブースを出展しました。

当日は桜はまだ3分咲きほどでしたが、春の陽気に恵まれ、住民の方々が「さくらチャリティ」を楽しまれていました。委員会ブースにも多くの方々を訪れてくださいました。



委員会活動紹介パネル展示

中でもニュータウンの樹木パネルを、皆さん世代を問わずご覧になられていました。



チャリティ屋台

たこせん、コーヒー大人気！



身近な樹木 グリーンウォーク

委員会特製「花とみどり」マップを手にはラクセーヌ周辺を散策。

